

## 第4回 北上川上流洪水減災対策協議会 減災対策に係る委員の主な発言（概要）

### ■安全な避難行動のための取組について

- ・今年の8月の大雨の時、岩手河川国道事務所あるいは盛岡地方気象台から、非常にタイムリーな情報をホットラインでいただき、すぐ避難勧告を出すということに結びついた。
- ・避難勧告を発令する立場として、水位情報は大変重要な判断材料なので、水位周知河川の早期整備、運用開始をお願いしたい。
- ・地域住民が助け合いながら避難する共助の体制づくりに取り組んでいる。避難に手助けが必要な要支援者の位置や避難ルートを記したマップを作成し、有事の際に誰が助けに行くのかを決めて災害に備えていきたい。
- ・ホットラインによるきめ細かな情報の他にニーズに適した情報を流してもらえると大変助かる。

### ■地域防災力を維持・継続・強化するための取組について

- ・地域の意識啓発や訓練を牽引するリーダーが必要なので、自主防災組織の研修会を充実、強化するなどして、地域の防災リーダー育成に取り組んでいきたい。
- ・職員が代わっても取組方針が継承されることで、安全意識の高揚に結びつけていきたい。

### ■人命と財産を守るための取組について

- ・特別養護老人ホームの避難訓練の実施により、なかなか避難が難しいというのがわかったところ。今後その対応について、さらに検討していきたい。